

令和2年11月9日

小野市議会議長 小林 千津子 様

総務文教常任委員会
委員長 平田 真実

総務文教常任委員会所管事務調査報告書

9月定例会において、小野市議会会議規則第98条第1項の規定により、申し出をしておりました閉会中の所管事務調査を、下記のとおり実施いたしましたので、同会議規則第103条の規定に基づき調査の報告をします。

記

《所管事務調査》

- 1 開催日時 令和2年11月6日（金）午前10時00分～午前12時14分
- 2 場 所 小野希望の丘 アレオ
- 3 出席議員の氏名 平田真実委員長 村本洋子副委員長
松永美由紀委員 河島 泉委員
喜始真吾委員 前田光教委員
藤原 章委員 小林千津子委員
- 4 欠席議員の氏名 な し
- 5 出席した理事者及び担当職員の氏名
〈市民安全部防災グループ〉
大戸英治部長、福西孝雄主幹、
高木博史副主幹、羽原靖幸主務、竹内友哉
- 6 その他の出席者 河島三奈議員
- 7 所管事務調査事項
(1) 防災資機材について

《所 感》

段ボールベッドやマンホールトイレの組み立て・設置、発電機付きバルーン投光器の操作の実践をすることによって、具体的に災害時の利用を想定することができた。避難所におけるトイレの問題は、全国の被災地でも大きな課題となっていることから、小野市においてもマンホールトイレの整備に加え、携帯トイレや簡易トイレの更なる充実、家庭での携帯トイレ等の備蓄が必要であると考えます。また、コロナ禍における災害や、プライバシー確保として必須になるワンタッチパーテーションにより、どれくらいの空間が確保できるかも確認した。これからは、避難所において空間の確保が課題となる。市民一人一人の在宅避難に関する知識の向上や、各家庭における備蓄の充実について、啓蒙・啓発が引き続き重要である。市による啓発は人員にも限りがあるため、おの防災リーダーの会をはじめとした市民による自主防災組織を今後も充実させ、市民の防災意識向上を図りたい。

平成27年度配布の防災マップから、想定し得る最大規模の降雨を想定した浸水想定区域図、洪水、土砂災害、地震の情報を加えた、新たな小野市防災マップが全戸配布となった。その内容についてもご説明頂き、委員も各ページを見ながら「マイ・タイムライン」を作成した。改めて、身のまわりにどのような危険があるのかを確認し、避難場所の安全な経路を家族等で話し合っておくこと等の重要性を認識した。

今回は市当局のご協力を頂き、実践型の研修を開催した。机上で聞くだけではわからないこと、防災資機材を見るだけではわからないことがあった。実際に体験することで、新たな視点に気づくことができたのではないだろうか。委員からは、マンホールトイレや発電機付きバルーン投光器等の防災資機材についての質問や、土嚢袋の備蓄に関する質問が挙げられた。それぞれの委員は、今後の活動の中で市民への啓発に寄与して頂き、委員会においても引き続き調査研究に努めてまいりたい。

段ボールベッド



ワンタッチパーテーション



災害対策用マンホールトイレ



発電機付きバルーン投光器





防災マップ研修

